

DAIKUEI

Vol.99



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

機関誌 第99号(夏季号)

〔目 次〕

巻頭言（畑中勝美会長）	1	「優秀建設施工者」協会推薦者受賞	12
第53回 定時総会を開催	2	青年部会・なでしこ設備会活動だより	13
令和8年度 事業計画	4	技術ニュースを発行	15
令和8年度 理事業務分担	5	ボウリング大会を開催	23
専門委員・青年部会等の紹介	6	4団体協議会を開催	24
新入社員研修を実施	7	就任挨拶（坂口専務理事）	25
日空衛 第78回定時総会を開催	9	登高望遠・日々力行（林前専務理事）	26
日空衛「実践スローガン」	9	告知板（賛助会員募集・行事予定）	29
日空衛 近畿支部会を開催	10	暑中ご挨拶（会員・賛助会員一同）	30
第3回フットサル大会を開催	11	編集後記	32

（表紙写真）

淀屋橋ゲートタワー （東地区）
淀屋橋ステーションワン （西地区）

大阪のメインストリート・御堂筋の北の玄関口である淀屋橋地区では東地区と西地区で一体的な超高層複合再開発（ツインタワー計画）が進められ、これらはその核となる2棟の大型ランドマークビル。
淀屋橋ゲートタワーは、中之島に隣接する大阪随一のロケーションを活かし、この地にふさわしい上質なにぎわいを創出するオフィス主体の大型複合ビルとして、2025年12月に竣工。
淀屋橋ステーションワンは、オフィスやレストラン、ショップなどの機能を備え、熱負荷の低減や調光制御、建物内のVOID空間（吹き抜け）を活用した自然換気システムなどさまざまな省CO2技術を導入する先進の環境配慮型建築物で、2025年5月に竣工。

ご

挨拶

拶



会 長 畑 中 勝 美

会員及び賛助会員の皆様には、日頃より当協会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
第53回定時総会後の臨時理事会の決議により、新会長の大役を仰せつかりました畑中勝美でございます。

歴代会長が取り組まれた評価の高い事業を継続することを基本とし、会員・賛助会員の皆様のご支援をいただきながら、透明性のある協会運営を進めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

昨今、全国各地で頻発している震度5以上の地震やここ数年の顕著な気候変動も踏まえると、建設業は、社会資本整備の担い手であるとともに、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担うなど「地域の守り手」としての役割も担っており、地域建設企業の重要性はますます高まっています。

そのような中、国土交通省は、令和8年度予算において、約5兆2千9百億円に上る前年度並みの公共事業費の確保を図っており、社会資本の整備に寄与するとともに、安全・安心で豊かな国民生活の実現に資することが期待されるところです。

私共を取り巻く職場環境ですが、改正労働基準法により2024年4月の罰則付き時間外労働時間の上限規制の適用から2年余りが経過しており、現場における業務の効率化・合理化等、「働き方改革」が着実に推進しつつあります。

一方で、賃金上昇が物価上昇に追い付かない状況が続いております。働き方改革の要ともいえる「労務費の適正確保」につきましては、2025年12月に改正建設業法等が全面施行され、労務費の基準などが示されるとともに受注者については不当に低い請負代金・著しく短い工期による契約締結の禁止等が明記されています。専門工事の技能者への適正な労務費の行き渡り等の実効性がより確保されるよう、国の対応を注視してまいります。

また、空調衛生工事業界としましては、生産性向上における先進的な取組を普及させ、「脱炭素社会」の実現に向けた省エネ・省CO₂の最先端技術を駆使した「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の普及促進等、先導的役割を担い、業界としてのプレゼンスを更に高めていく必要があります。

そのためにも、当協会は、空調衛生工事業が魅力ある産業であることをこれからも発信してまいります。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご発展とご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

第53回定時総会開催

「働き方改革」の一層の推進及び 生産性向上における先進的な取組の普及・促進 令和8年度の事業計画・予算など決定



総会会場(全体)



挨拶する北村会長

一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の第53回定時総会は5月12日（火）、大阪市中之島のリーガロイヤルホテルで開催し、諸官庁との懇談会、配管技能コンテストの実施、青年部会及びなでしこ設備会による各種研修事業の実施等、令和8年度の事業計画を決定した。

開会に先立ち、さる5月3日に、お亡くなりになられた総務委員長木村之彦様を偲び、黙祷を行った。

定時総会は定刻午後3時30分、林寿二専務理事の司会で始まり、総会出席者数が定款第20条の規定の定足数を満たしているため、本総会が有効に成立していることを報告した。

続いて、挨拶に立った北村広外志会長は、「働き方改革の要といえる労務費の適正確保については、国において労務費の基準が示され、技能者への行き渡りを期待する。また、脱炭素社会の実現に向け、ZEBの普及促進等の先導的役割を担い、業界としてのプレゼンスを高めていく。」と強調した。

定款第19条の規定により北村会長が議長に就任し、北村議長は定款第26条の2の規定に基づき議事録署名人として、下記の両名を指名し、会員に

諮ったところ全員異議なく了承したので、両名を議事録署名人に指名した。

議事録署名人 橋本 輝
同 藪本 繁明

両名はこれを了承した。

続いて北村広外志議長は、本日提案の議案内容の説明について、議事進行の都合上、

議事次第の順序を次のとおり一部変更したい旨申し出た。

第1号議案「令和7年度 事業報告の件」と第3号議案「令和8年度 事業計画（案）の件」を委員会ごとに説明し、次に第2号議案「令和7年度 決算報告の件」、第4号議案「令和8年度 収支予算（案）の件」は事務局より一括して説明を行い、その後、監事から監査報告を行った後に、議案ごとに順次諮っていききたい。

以上について議長が会員に諮ったところ全員異議なく了承された。

議事審議の経過と結果

第1号議案「令和7年度 事業報告の件」

第3号議案「令和8年度 事業計画（案）の件」

各委員会の担当理事が、議案書に基づいて事業

報告の件、事業計画（案）の件をそれぞれ説明した。

総務委員会 平地秀行理事

経営委員会 綾目圭志理事

広報委員会 松本晋一理事

技術委員会 三宅輝彦理事

労務委員会 福地文雄理事

第2号議案「令和7年度 決算報告の件」

第4号議案「令和8年度 収支予算（案）の件」

林専務理事は議案書に基づいて、第2号議案、第4号議案を説明した。

令和7年度正味財産増減計算書に基づく決算報告は

経常収益	計	43,714,992円
------	---	-------------

経常費用	計	44,407,035円
------	---	-------------

当期正味財産増減額	計	1,741,137円の減
-----------	---	--------------

正味財産期末残高	計	52,618,815円
----------	---	-------------

となる旨を報告した。

次に、令和8年度収支予算（案）について、

経常収益計は、44,560,300円、経常費用計は、48,390,721円、予備費1,000,000円を計上した旨を説明した。

「会計監査報告」

大田勝己監事は、令和7年度決算報告について、会計に関する帳簿等関係書類を監査の結果、適正に処理されていることを認める旨を報告した。

北村議長は、前もって承認を得たとおり、第1号議案から第4号議案までを順次会員に諮ったところ、すべて全員異議なく承認された。

第5号議案「役員選任の件」

北村議長は、令和6年5月14日に就任又は再任した現役員及び令和7年5月13日に就任した現役員が定款第31条の規定により、本定時総会の終結の時をもって任期が満了するので、定款第28条

の規定による新役員の選任を行いたい旨を告げ、その選任方法を会員に諮ったところ、議長に一任された。そこで、本総会前に開催された理事会において審議の上、合議された役員候補者（案）が議長に届けられたので、議長は、新しい理事21名と監事2名の役員候補者を次のとおり発表した。

◇理事

赤松孝宏、綾目圭志、上杉晴一、勝野耕司、北村広外志、城口俊雄、武田和夫、辻 武寿、中川 修、永田博巳、橋本 輝、平地秀行、藤原和明、松本晋一、三宅輝彦、若林尚史、（以上再任）

坂口正行、嶋村克久、畑中勝美、福地優祐、藤岡展光（以上新任）

◇監事

大田勝己（以上再任）

小坂大輔（以上新任）

北村議長は、役員候補者について会員に諮ったところ、全員異議なく承認された。

以上で第53回定時総会の議事が全て終了したので、北村議長は、午後4時20分閉会を宣言した。

総会終了後、臨時理事会が開催され、会長、副会長、専務理事の選任が行われた。

会長には、畑中勝美理事が新しく選任された。副会長3名には、城口俊雄理事及び若林尚史理事並びに中川修理事が再任された。専務理事には、坂口正行理事が新しく選任された。また、理事の業務分担（5ページに掲載）が決められた。



この後、午後5時から会員及び賛助会員が参加して、山楽の間において懇親会を開催した。



懇親会で挨拶する畑中新会長



懇親会で和やかに交流

令和8年度 事業計画

自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日

総務に関する事業

1. 総会及び新年交礼会等の開催
2. 叙勲、褒章並びに大臣表彰等の受賞候補、技能功労者等受賞候補者の推薦を行う
3. 会員従業員の福利厚生面の充実を図るため、スポーツ大会や各種行事を行う
4. 他の部門に属さない事業の運営を図る

経営に関する事業

1. 公共工事の直接発注拡大促進を図る
2. 事業推進のため、諸官庁との「懇談会」の開催、及び関係機関に対し建議陳情を行う
3. (一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会長会議及び近畿支部会を開催し、情報や意見交換を通じて連携を深める
4. 新技術、新商品説明会等を通じて、会員及び賛助会員との交流の促進を図る
5. 建設業団体との交流を通じて情報交換や協力関係を図る
6. 配管、ダクト、保温保冷の三団体との連携を図る
7. 青年部会及びなでしこ設備会による各種研修会等を実施する
8. 社会貢献として、募金活動及び清掃活動を実施する

広報に関する事業

1. 機関誌「大空衛」を年2回発行する
2. ホームページの更新・充実により、情報発信を強化する

技術に関する事業

1. 衛生設備や空調設備の調査・研究、技術ニュースを発行する
2. 登録配管基幹技能者講習、登録ダクト基幹技能者講習の運営に協力する
3. 技能者養成及び未来の技能者育成を目指し、配管工、高校生・専門学校生を対象に、第16回配管技能コンテストを実施する
4. 配管技能検定試験の実技試験運営事務を行う

労務に関する事業

1. 労働災害防止及び労働安全衛生の意識高揚を図り、災害ゼロの明るい職場づくりを進める安全衛生大会を開催し、無災害の優良工事現場の表彰を行う
2. 労働災害の防止を目的に、安全管理活動の促進を図るため安全パトロールを行う
3. 大阪配管高等職業訓練校への助成を行う
4. (一社)大阪電業協会と合同で新入社員研修会を行う

理事業務分担

令和8年5月

(一社)大阪空気調和衛生工業協会

会 長	畑 中	勝 美	ダイダン株式会社大阪本社
副 会 長 総務・経営担当	城 口	俊 雄	株式会社大阪城口研究所
副 会 長 技術・労務担当	若 林	尚 史	若林設備工業株式会社
副 会 長 広報担当	中 川	修	須賀工業株式会社大阪支社
理 事	北 村	広外志	ダイダン株式会社
1. 総務委員会			
委 員 長	平 地	秀 行	鳳工業株式会社
副委員長	藤 原	和 明	東洋熱工業株式会社大阪支店
2. 経営委員会			
委 員 長	綾 目	圭 志	ダイダン株式会社大阪本社
副委員長	辻	武 寿	株式会社精研
理 事	武 田	和 夫	株式会社テクノ菱和大阪支店
3. 広報委員会			
委 員 長	松 本	晋 一	不二熱学工業株式会社大阪本店
副委員長	橋 本	輝	ダイクウ株式会社
理 事	嶋 村	克 久	日比谷総合設備株式会社関西支店
4. 技術委員会			
委 員 長	三 宅	輝 彦	株式会社朝日工業社大阪支社
副委員長	赤 松	孝 宏	高砂熱学工業株式会社関西支店
理 事	永 田	博 巳	三建設備工業株式会社大阪支店
理 事	藤 岡	展 光	新菱冷熱工業株式会社西日本事業部
5. 労務委員会			
委 員 長	上 杉	晴 一	新日本空調株式会社大阪支店
副委員長	勝 野	耕 治	三機工業株式会社関西支社
理 事	福 地	優 祐	柳生設備株式会社
専務理事	坂 口	正 行	(一社)大阪空気調和衛生工業協会
監 事	大 田	勝 己	株式会社三冷社西日本支社
監 事	小 坂	大 輔	大阪ガス株式会社

令和8年度 専門委員の紹介

安全労務専門委員

○安全衛生大会の企画・運営 ○安全パトロール	新原 辰美 (新日本空調(株)大阪支店)	香束 昌信 (日比谷総合設備(株)関西支店)
	稲垣 正志 (株朝日工業社大阪支社)	堤 英治 (須賀工業(株)大阪支社)
	佐藤 直人 (三機工業(株)関西支社)	

技術専門委員

○空調部会・衛生部会に分かれ、技術ニュースを発行	空調部会	香川 芳範 (ダイダン(株)大阪本社)	辻 晴亮 (三機工業(株)関西支社)
		吉田 則章 (株朝日工業社大阪支社)	山口 淳志 (高砂熱学工業(株)関西支店)
		樫本 恭佑 (新菱冷熱工業(株)西日本事業部)	
	衛生部会	三輪 晃洋 (須賀工業(株)大阪支社)	瀧口 佳典 (三機工業(株)関西支社)
		吉田 猛 (株西原衛生工業所大阪本店)	新保 東輝彦 (株朝日工業社大阪支社)

広報専門委員

○ホームページ管理、機関紙「DAIKUEI」の発行	足立 泰彦 (株精研)
	金谷 泰久 (日比谷総合設備(株)関西支店)

経営専門委員

○経営委員会活動のサポート、府下市町村へ分離発注の陳情等	今井 健太 (ダイダン(株)大阪本社)
	石原 真典 (株テクノ菱和大阪支店)
	池田 良照 (株精研)

令和8年度 青年部会の紹介

会員 21 名

会 長	大東 一弘 (不二熱学工業(株))	顧 問	長元 伸吾 (ダイダン(株))
副 会 長	佐野 龍 (若林設備工業(株))		
〃	石原 真典 (株テクノ菱和)		
〃	佐野 文則 (株大阪城口研究所)		
総 務 委 員 会	委員長 筒井 陽平 (須賀工業(株))	定時総会、安全衛生大会、新年交礼会の運営	
実 務 委 員 会	委員長 今井 健太 (ダイダン(株))	研修会、工場見学会	
交 流 委 員 会	委員長 池田 良照 (株精研)	野球大会、ボウリング大会、フットサル大会の運営、レクリエーション活動	
福 祉 委 員 会	委員長 根間 啓史 (東洋熱工業(株))	募金活動、日赤等への寄付活動、クリーンUP	

令和8年度なでしこ設備会の紹介

会員 13 名

会 長	伊藤 沙也香 (株大阪城口研究所)
副 会 長	川本 葉月 (株精研)

令和8年度新入社員研修を実施

経営者、先輩から幅広い知識習得



当協会は、毎年恒例となっております
(一社)大阪電業協会と合同の令和8年度新入社員研修会を開催しました。

講師は、両協会所属会社の経営者や経験豊富な熟練社員、入社数年の社員が担当しました。

講義内容は、社会人に求められる基本姿勢からビジネスマナー、営業の方法、安全知識、熟練社員の体験談まで幅広い分野に及び、研修会に参加された新入社員は、諸先輩が語る講義に熱心に聞き入っていました。

業務ご多忙の中、講師として登壇下さいました皆様に厚くお礼申し上げます。

◇開催日時 令和8年4月6日(月)、7日(火)
両日のうち1日受講
10:00 ～ 17:00

◇会場 エル・おおさか南館5階南ホール

◇受講者数 88名(内当協会 3社 6名)

◇◇◇当協会からの講師(敬称略)◇◇◇◇

【経営者による講話】

(現場で学んだこと、皆さんへのメッセージ)

(株)精研

代表取締役社長 辻 武寿

【3～5年目社員の講話】

(仕事での失敗談、社会人として大切なこと)

(株)テクノ菱和大阪支店第一工事部第二課

野村 優太

【営業に関する講話】

(営業の特徴、求められる力、期待すること)

ダイダン(株)大阪本社営業部主任

今井 健太

【工事に関する熟練社員の講話】

(これまでの楽しかったこと、辛かったこと
これからの工事現場を託される皆様へ)

ダイダン(株)西日本事業部プロジェクト推進部

グランドプロジェクトマスター 坂 誠也

建設現場の土日閉所の実現、CN行動計画の更なる推進

日本空調衛生工事業協会（藤澤一郎会長）は5月20日、東京都千代田区の帝国ホテルで第78回定時総会を開催した。

冒頭、藤澤会長は、「昨年策定した働き方改革の行動計画に基づき、新築現場の土日閉所運動を推進するとともに、CN推進へ向けての会員の一層の尽力をお願いする」と要請した。

総会では、令和7年度事業報告・決算報告に続

いて、令和8年度の事業計画・予算を決定した。

このあと、令和8年度業界実践スローガンを原案通り決議した。

また、総会で役員の改選を行い、小島会長が新会長として就任し、専務理事及び理事の一部交替に伴う第42期（令和8年度）の役員の業務分担を決めた。



藤澤会長



令和8年度業界実践スローガン

われわれ空調衛生工事業は、生活環境の改善、産業分野の環境創造、防災機能の強化とともに、地球環境の保全を担う産業としての誇りを持ち、優れた技術と品質の確保により、持続可能な社会への貢献、魅力ある空調衛生工事業への挑戦に向け、一致団結して次のスローガンの実践にあたろう。

1. 地球温暖化対策の先導役として、建物のライフサイクルでCO₂の排出削減に取り組み、空調衛生工事業の技術力でカーボンニュートラルの実現に貢献しよう
2. 適正な工期の確保、厳正な工程管理とともに、施工現場の4週8閉所の更なる拡大・定着等の働き方改革を進めることにより、新4Kを実現して、未来を担う多様な人材の確保を図ろう
3. BIMやAIの活用等による建設DXを推進するとともに、人材の育成を進め、生産性を向上させ、施工能力を確保しよう
4. 適切な価格転嫁、支払い条件の適正化により、労務費の行き渡りを図り、サプライチェーン全体での繁栄を目指そう
5. 法令の遵守と人権への配慮により、社会的信頼の確保に努める事業運営を徹底しよう
6. 直接発注（分離発注）等の適切な発注方式を促進するとともに、建設業法の許可業種区分について、「機械設備一式工事」又は「空調衛生工事」の実現を目指そう

令和8年5月20日

日空衛 近畿支部会を開催 「働き方改革」の推進等、取組み確認

日本空調衛生工事業協会（日空衛）の近畿支部（北村広外志支部長）は2月17日、大阪市中央区のシテイプラザ大阪で令和7年度近畿支部会を開催し、最近の日空衛の活動などを確認した。

支部会には本部から高橋広幸専務理事を含め、団体・企業会員ら40名が出席。開会挨拶で北村支部長は、大要、次のとおり述べた。

- ◇ 昨年の支部活動では、近畿支部会長会議で、各空衛協会の活動について、活発に意見交換を行った。
- ◇ 近畿支部経営委員会と近畿地方整備局営繕部との懇談会では、『歩掛の見直し』、『労務費に関する基準』、『BIMへの取組状況』等について、活発に意見交換を行った。
- ◇ 「働き方改革」推進に向け、日空衛等による発注者等への要望活動を受け、当支部も日本電設協関西支部と共同で日建連関西支

部及び大阪建設業協会へ適正な工期の確保等の要望を行った。

- ◇ 会員においては、「働き方改革」の一層の取組をお願いする。

引き続き高橋専務理事が「最近の日空衛の活動について」と題して、主として、以下の取り組みなどを紹介した。

- ◇ 建設業の働き方改革の推進
- ◇ 空調衛生工事業のCN行動計画
- ◇ 建設キャリアアップシステムの取り組み
- ◇ 建設分野における特定技能制度の概要他

終了後の懇親会では、来賓の国土交通省近畿地方整備局営繕部設備技術対策官の那須大輔様から挨拶をいただき、日空衛・藤澤一郎会長の発声で乾杯し、支部活動について忌憚のない意見を交換し合い親睦を図った。



挨拶する北村支部長



日空衛の活動を報告する高橋専務理事



支部会の会場全体



活発な意見交換の懇親会



第3回大会も優勝は因幡電機産業(株)

優 勝	因幡電機産業(株)	準優勝	日比谷総合設備(株)
第3位	新日本空調(株)	第4位	三機工業(株)
第5位	高砂熱学工業(株)	第6位	ダイダン(株)

最優秀選手賞 因幡電機産業(株) 石川 玲 選手
敢 闘 賞 日比谷総合設備(株) 沼田 和哲 選手

第3回フットサル大会は令和8年2月24日（火）に室内冷暖房完備のセレッソフットサルパーク福島にて開催されました。試合方式は前回同様、ランダムリーグ戦方式（1チーム5試合）を採用し、上位6チームによる順位決定戦が行われました。全20チーム（総勢260名）が参加、全試合が白熱するなど、大いに盛り上がりを見せた1日となりました。開会式では城口副会長が登場し、「怪我のないよう、盛り上がる第3回大会となるように」と参加者に呼びかけました。そして、特別ゲストとして第1回大会にもお越しいただきましたセレッソ大阪の森島会長、さらに今年は現役Jリーガーの方にもご挨拶をいただき、大変貴重な機会となりました。

続いて、第2回大会優勝の因幡電機産業(株)による優勝シャーレの返還式が行われ、トロフィーの重みと大会の伝統がしっかりと引き継がれていると感じさせる印象的な場面となりました。

また、今年は閉会式前にイベントゲームを開催しました。試合で激闘を繰り広げた各社が3グループに分かれて、クロスバー当てやリフティング大会、尻尾取りゲームなどをチーム対抗で行いました。お互い敵同士であったメンバーが、イベントゲームではチームになることで、試合とはま

た違う白熱した戦いが展開されました。なかでも尻尾取り対決では各チーム戦術を練った戦い方が垣間見え、会場全体が一体となって盛り上がる場面が多く見られました。閉会式では中川副会長より、優勝チームから第6位までのチームに対し、優勝シャーレやトロフィー、表彰状などが授与されました。閉会挨拶では参加者の健闘を称えるとともに、本大会を通じて正会員・賛助会員相互の交流がより一層深まったことへの評価が述べられました。フットサルは接触プレーも多く、怪我のリスクが非常に高いスポーツであることから、審判団には昨年以上にラフプレーへの厳格な対応を行っていただき、安全面にも十分配慮した大会運営となりました。そして、第4回大会からは大会形式を変更し、上位・中位・下位のリーグ方式の導入を検討しております。これにより、実力の近いチーム同士の対戦機会を増やし、より競技性と公平性の高い大会運営を目指します。

第2回大会に続く今回の第3回大会も、審判団および青年部会の皆様の尽力により、運営・進行ともに円滑に行われ、無事終了することができました。関係各位には心より感謝申し上げます。第4回大会についても、会員相互の交流と親睦を深める場として、引き続き開催していく予定です。



大会挨拶 城口副会長



(株)セレッソ大阪 森島会長より挨拶



団体表彰優勝 因幡電機産業(株)



第3回大会 集合写真



試合風景



閉会挨拶 中川副会長

令和7年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰

協会推薦の蔭氏、上田氏が受賞

大阪府の令和7年度「優秀建設施工者」表彰式が、令和8年2月5日に大阪府本館5階正庁の間で行われ、27名（熟練工部門18名・青年部門9名）が表彰され、当協会推薦の2人が知事表彰を受けました。

熟練技能者表彰は平成6年度から、青年技能者表彰は同27年度から実施されているもので、当協会、大阪建設業協会などの建設関連団体が配管工、ダクト工、熱絶縁工、鉄筋工、左官工、大工、電気工など各職種の優秀施工者を推薦し、大

阪府が表彰しているものです。

式典では、大阪府知事表彰実行委員会を代表して大阪府中小建設業協会の日野一基会長が挨拶し、続いて森岡武一大阪府副知事が挨拶し、森岡副知事から受賞者27名に表彰状が授与されました。

当協会から推薦した近畿保温保冷工業協会所属企業のケージ断熱(株)の蔭 良太氏（熱絶縁工）が熟練工部門で、同協会所属企業の(株)ウエダの上田拓海氏（熱絶縁工）が青年部門で、それぞれ大阪府知事表彰を受賞しました。



ケージ断熱(株)
蔭 良太氏(熟練工部門)



(株)ウエダ
上田拓海氏(青年部門)



左から林専務理事、蔭 良太氏、上田拓海氏

青年部会・なでしこ設備会 活動だより

青年部会・なでしこ設備会 日本赤十字社に10万円寄付

協会青年部会（大東一弘会長）となでしこ設備会（伊藤沙也香会長）は、協会行事や部会活動を通じて募った10万円を日本赤十字社に寄付した。

この日本赤十字社への募金活動は「何らかの活動を通じて社会に貢献したい」という青年部会の発案で行われているもので、今回で17回目。3月16日、当協会経営委員長の綾目圭志理事と大東会長、伊藤会長他1名が大阪府支部を訪れて寄付した。

贈呈式では、綾目委員長から西野栄次事務局長

に寄付金目録が手渡された。歓談では、綾目委員長は、「不安定な世界情勢の中、活動に尽力されている日赤関係者に対し、敬意を表するとともに、今年で17回目となる取組であり今後も続けていきたい。」と述べた。

それに対して、西野事務局長からは、「私達の活動は皆様の寄付によって成り立っている。大切にに使わせていただく。」と感謝の言葉を述べられた。



募金を手渡す綾目委員長（右）



歓談風景



全員にて

青年部会・なでしこ設備会 合同工場見学会

三菱電機株式会社 冷熱システム製作所

令和8年3月13日（金）、青年部会となでしこ設備会の合同にて、三菱電機株式会社 冷熱システム製作所様の工場およびショールームを見学させていただきました。

同製作所は業務用空調機器や冷凍機など、幅広い用途に向けた冷熱機器の製造拠点として高い技術力を誇っており、今回の見学は大変有意義なものとなりました。

午前中の工場見学では、圧縮機の製造過程や空調機器の製造ラインにおける各工程をご案内いただきました。工場内では無人化システムが積極的に導入されており、生産効率の向上と安全・品質管理を高いレベルで両立されている点が印象的でした。また、生産ラインにおける省エネルギー化への取り組みについても分かりやすくご説明いただき、日頃取り扱っている製品がどのような工程を経て完成していくのかを具体的に理解できる、貴重な機会となりました。

午後には体験型ショールームをご案内いただきました。空気の流れをイメージした曲線的な空間

で、カーボンニュートラル実現に向けた省エネ性向上の取り組みや、マイナス24℃の環境体験、多様化するニーズに応える冷暖房同時運転技術、さらに省メンテナンス・省施工化の工夫などを幅広くご紹介いただきました。

製品を使用するお客様はもちろん、私たち取扱業者の視点も踏まえた技術開発が継続されていることを知り、感謝の気持ちとともに大きな刺激を受けました。

今回の見学を通じて、三菱電機株式会社 冷熱システム製作所様の高度な製造技術に加え、環境負荷低減・安全性向上・ユーザビリティ向上に向けた継続的な取り組みについて深く理解することができました。得られた知見は、今後の業務推進やお客様への提案力向上に必ず役立つものと確信しております。

最後に、見学会の実施にあたり多大なるご協力とご配慮を賜りました三菱電機株式会社 冷熱システム製作所の皆様に、改めて心より御礼申し上げます。



説明を受ける参加者



工場見学風景



参加者全員で記念撮影

空調設備ニュース 02

air conditioning news 2026.Feb

No.050

□機器 □ダクト □配管 □換気
□排煙 □自動制御 ■他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

建築物における環境認証制度

〇はじめに

近年、投資家や企業におけるESG評価の重要性が高まり、環境認証の取得が企業価値や不動産の資産価値向上につながるものとして位置づけられるようになっていきます。環境認証は、従来の「省エネルギー性能」評価にとどまらず、環境負荷の低減、住居者の快適性や健康性などを含めた複合的な評価へと発展しています。本稿では、近年建築物において取得件数が増加しているCASBEEをはじめ、代表的な環境認証制度を紹介いたします。

〇環境認証制度の目的

建物が「どれだけ環境に配慮されているか」「快適かつ省エネルギーであるか」を客観的に評価し、設計・建設・運用の各段階で環境負荷の低減を促進することを目的としています。

以下に、環境認証を取得する主なメリットを示します。

- ・ **環境負荷の低減促進**
企業や組織が省エネ、リサイクル、CO₂削減などを進める動機づけになります。
- ・ **信頼性の確保・情報の透明化**
消費者や取引先に「環境配慮している」ことを客観的に示すことができます。
- ・ **市場競争力の強化**
環境配慮型の建物・企業としての評価が高まり、ブランド価値や市場競争力の向上につながります。

〇建築物における環境認証制度

主な環境認証制度を以下に示します。

① CASBEE (キャスビー) Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency

建築環境総合性能評価システム

運営：国土交通省主導で開発（建築研究所・日本サステナブル建築協会など）

評価：「環境品質(Q)」と「環境負荷(L)」の比(BEE=Q/L)で評価。S(最高)/A/B+/B-/C



② BELS (ベルス) Building-Housing Energy-efficiency Labeling System

建築物省エネルギー性能表示制度

運営：国土交通省・SII（一般社団法人 環境共創イニシアチブ）

評価：建物の省エネ性能（一次エネルギー消費量）を6段階で星表示。★★★★★（最高）～★

特長：CASBEEよりシンプルで、省エネ性能に特化。建築確認や補助金申請などで活用される。



③ ZEH / ZEB 認証 (ゼッチ/ゼブ) Zero Energy House / Zero Energy Building

運営：経済産業省・環境省・国交省が推進

評価：基準一次エネルギー消費量からの削減量（再エネ含む）にて評価。

『ZEB』100%削減、『Nearly ZEB』75%削減、『ZEB Ready』50%削減、『ZEB Oriented』30~40%削減(条件による)



④ LEED (リード) Leadership in Energy and Environmental Design

運営：アメリカUSGBC（米国グリーンビルディング協会）

評価：下記8つの分野の合計点で評価。Certified/Silver/Gold/Platinumの4段階

LT:立地/交通、SS:持続可能な敷地、WE:水効率、EA:エネルギー/大気、MR:資源/材料、

EQ:室内環境品質、IN:インノベーション、RP:地域特性



⑤ WELL 認証 (ウェル) WELL Building Standard

運営：アメリカIWBI（International WELL Building Institute）

評価：建築物を「環境性能」ではなく、人の健康・快適性・生産性の観点から評価する

下記10コンセプトのポイント合計により評価。Bronze/Silver/Gold/Platinumの4段階

書類審査だけでなく現地検証や屋内全面禁煙など必須項目もあり、取得のハードルが高い

Air:空気質/換気/汚染物質、Water:飲料水の安全性/品質、Nourishment:健康的な食環境、

Light:照明/概日リズム、Movement:運動促進/階段利用、Thermal Comfort:温熱快適性、Sound:音環境/騒音対策、

Materials:有害物質削減、Mind:メンタルヘルス/ストレス、Community:多様性/働き方/包摂性



〇認証までの作業の流れ（CASBEEの場合）

日本でも多くの建築物で取得されている環境認証制度CASBEEについて具体的な作業の流れを紹介します。

◇ 評価の考え方

CASBEEでは、建物の環境性能を「BEE値（建築環境効率）」として算出します。

BEE値が高い＝質が高く、環境負荷が少ない建物という評価になります。

Q (Quality) : 建物内部の環境品質（快適性、利便性、健康性など）

L (Load) : 建物の環境負荷（エネルギー消費、CO₂排出、廃棄物など）

$$BEE = \frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$$

◇ 評価手順（ステップ）

① 評価対象・CASBEE種類を決定（設計者・発注者）

CASBEE-建築（新築） : 新築建物（オフィス・商業施設など） → 設計時、建設時及び竣工後3年までの期間

CASBEE-建築（既存） : 既設建物（改修・リノベーション対象） → 竣工後1年以上経過

CASBEE-戸建住宅 : 住宅（戸建住宅など）

CASBEE-まちづくり/UD : 地域・街区（複合開発・都市計画など）

② 必要資料の収集・計算準備（設計者）

建築設計図（平面図、断面図、設備図など）

建物概要書（延床面積、用途、構造など）

使用建材や設備機器の性能カタログ

省エネ*計算結果（一次エネルギー消費量、UA値など）

環境配慮項目（緑化計画、雨水利用、リサイクル等）

* 省エネ計算は確認申請でよく用いられるwebプログラムの

標準入力法、モデル建物法どちらも使用可能で、

BPI（外皮性能）、BEI（一次エネルギー性能）の値が必要です

③ CASBEE評価ツールで評価（評価者）

日本サステナブル建築協会（JSBC）が提供するCASBEE評価ソフトを使用して入力します。

https://www.jsbc.or.jp/research-study/casbee/download_nc/dl_nc.html

評価は下記4つの分野に分かれています。

1. エネルギー（省エネ、再エネ、CO₂排出削減）

2. 資源・材料（リサイクル、長寿命化、建設時廃棄物）

3. 室内環境（光、音、温熱、空気質、快適性）

4. 敷地外環境（景観、ヒートアイランド、緑化）

④ 評価結果（BEE値）算出（評価者）

入力データをもとにBEE値を算出します。（図1, 2参照）

Sランク（最高ランク） BEE ≥ 3.0

Aランク（環境に配慮） 1.5 ≤ BEE < 3.0

B+ランク（平均以上） 1.0 ≤ BEE < 1.5

B-ランク（一般的） 0.5 ≤ BEE < 1.0

Cランク（環境配慮が不十分） BEE < 0.5

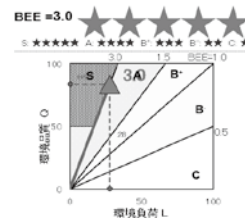


図1 BEEランク&チャート

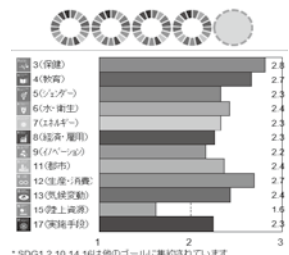


図2 SDGsチェックリスト評価結果

⑤ 第三者認証機関による審査・登録（評価機関）

評価結果を第三者認証機関に提出します。代表的な審査機関は次のとおりです。

・一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構（IBEC）

・日本ERI株式会社

・一般社団法人 サステナブル建築評価協会（JSBC）

⑥ 評価認証書の発行（評価機関）

審査が通ると、CASBEE評価認証書とCASBEEマーク（S/A/B+などのランク表示）が発行されます。

◇ 認証評価期間・費用の目安

期間：住宅（2～4週間）、非住宅（1～2か月）、大規模施設（2～3か月）

費用：戸建住宅1棟（10～20万円）、中規模オフィス延床2,000m²程度（30～60万円）、

大規模施設延床10,000m²程度（100～数百万円）

◇ 評価のポイント

下記項目の対策を行うことで高評価につながります。

- ・エネルギー 高効率空調・照明、省エネ設備、再エネ導入、断熱・気密などの建物性能向上
- ・資源・材料 リサイクル材、地産地消資材、長寿命化設計
- ・室内環境 採光・換気・遮音・温熱環境のバランス改善、快適性向上
- ・敷地外環境 緑化率の向上、雨水利用、敷地周辺の自然環境との調和
- ・その他 建物の維持管理や長寿命化

再生医療施設向け空調設備について

〇はじめに

製薬施設向け空調設備は、快適性を目的とするオフィス空調設備とは全く役割が異なります。微粒子・微生物による汚染および交差汚染を防止し、医薬品の品質・安全性を直接支える重要な“プロセス設備”としての役割を担っています。近年では、再生医療が実用化フェーズに入るなか、「CPC (Cell Processing Center/細胞培養加工施設)」の整備が急速に進んでいます。本稿では、CPC向け空調設備に求められる要件について紹介します。

〇CPCとは

CPCとは、患者やドナーから採取した細胞・組織を、医療に使える状態まで培養・加工する施設であり、再生医療や細胞治療に欠かせない中核施設です。外部からの微粒子や細菌の侵入を防ぐために、室圧、温度、湿度を厳密に管理し、クリーン環境を維持します。iPS細胞を用いた研究や治療を行う際にも、CPCが不可欠です。iPS細胞は温度やCO2濃度、培地の成分がわずかに変わるだけで、目的とは違う細胞に変化したり、品質が低下したりすることがあるため、常に一定の清浄な環境を保てる専用施設の確保が重要とされています。



〇CPC向け空調設備に求められる基本要件

CPCに適用される基準として、厚生労働省が定めたGCTP省令（再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令）があります。

- ・ **清浄度管理** : 微粒子+微生物の両方を管理
HEPA/ULPAフィルター等のろ過装置の設置
室内発塵（人・資材等）を前提とした適切な換気回数の設定
- ・ **差圧管理** : 汚染侵入や交差汚染の防止
用途に応じて陽圧/陰圧の階層を構築
- ・ **温湿度管理** : 製品特性（吸湿、静電気等）や、結露対策（微生物増殖防止）を踏まえたレンジ設定
- ・ **保守性** : フィルタ交換、点検導線、清掃、停止時の復帰性（立上げ時間）まで含めた運用設計
- ・ **監視** : 空間差圧・温湿度などを常時監視し、逸脱時の判断手順（アラート設計）を明確化
- ・ **バリデーション** : 製造所の構造設備並びに手順、工程その他の製造管理及び品質管理の方法が期待される結果を与えることを検証し、これを文書化する



〇CPCの清浄度区域の分類

従来の無菌医薬品（注射剤、点眼剤など）の製造施設では、作業工程ごとに清浄区域が分類され、浮遊微粒子および微生物による汚染の程度が定められた限度内に維持されるよう管理されます。（表1、表2参照）

CPCにおいても、同様の基準を用いて作業管理区域と清浄度レベルが設定されます。

・ 重要区域(グレードA)

滅菌された製品等が環境に暴露される製造作業を行う区域。製品への汚染リスクを高いレベルで防ぎ、製品の無菌性が維持できるように設計される。

・ 直接支援区域(グレードB)

クリーンルーム内に設置した開放系クリーンブースやRABS※を用いて無菌操作を行う場合、重要区域のバックグラウンドとして定義される。重要区域内の運転操作および運転監視を行う職員の作業区域となる。

表1 清浄区域の分類

名称		空気の清浄度レベル ^{注1)}	最大許容微粒子数(個/μm ³)			
			非作業時		作業時	
			≧0.5 μm	≧5.0 μm	≧0.5 μm	≧5.0 μm
無菌操作区域	重要区域	グレードA (ISO 5)	3,520	20	3,520	20
	直接支援区域	グレードB (ISO 7)	3,520	29	352,000	2,900
その他の支援区域		グレードC (ISO 8)	352,000	2,900	3,520,000	29,000
		グレードD	3,520,000	29,000	作業形態による ^{注2)}	作業形態による ^{注2)}

注1) 括弧内の ISO クラスは、作業時の微粒子数に対応したものである。

注2) 最大許容微粒子数を規定しないケースもある。

※RABS・・・Restricted Access Barrier System

密閉性の高い無菌化装置。作業者と製品を物理的に隔離することが可能

・その他の支援区域(グレードC・D)

滅菌前の製品等が環境に暴露される製造作業を行う区域。滅菌前の薬液の調製を行う区域や、無菌操作に使用する装置、器具等を洗浄する区域等からなる。

表2 環境微生物の許容基準(作業時)

グレード	空中微生物		表面付着微生物	
	浮遊菌 (CFU/m ³)	落下菌 ^{注2} (CFU/plate)	コンタクトプレート (CFU/24~30cm ²)	手袋 (CFU/5指)
A	<1	<1	<1	<1
B	10	5	5	5
C	100	50	25	---
D	200	100	50	---

注)1 許容基準は平均値評価とする。

注)2 1枚あたりの測定時間は、最大4時間までとし、作業時間中測定を行う。

○GPCの空調設備設計条件例(安全キャビネットを用いる場合)

1) 空調・環境条件

清浄区域の分類	グレードA	グレードB	グレードC	グレードD
主用途	細胞直接操作(SC内)	Aの背景エリア	準備・通路	更衣・前室
想定配置	安全キャビネット内	細胞調製室	準備室・廊下	更衣室等
清浄度(ISO)	Class 5	Class 7	Class 8	Class 8相当
清浄度(作業時)	ISO5維持	ISO7維持	管理対象	管理対象外可
換気方式	一方向流(層流)	乱流+補助	乱流	一般空調可
換気回数(目安)	(風速管理)	30~60回/h	20~30回/h	10~15回/h
温度	20~26℃	20~26℃	20~27℃	18~28℃
湿度	40~60%RH	40~60%RH	40~60%RH	管理目標のみ
最終フィルタ	HEPA	HEPA	HEPA or 中性能	中性能可

2) 圧力・気流条件

清浄区域の分類	グレードA	グレードB	グレードC	グレードD
圧力区分	最高圧	高	中	低
隣接室差圧	+10~15Pa以上	+10~15Pa	+5~10Pa	基準なし
気流方向	A→B	B→C	C→D	外部
扉開閉影響	即時回復必須	短時間回復	許容	問題なし
差圧監視	常時+警報	常時監視	定期監視	不要

○無菌医薬品と再生医療等製品の違い

従来の無菌医薬品と再生医療等製品の大きな違いは、製品が「生きている細胞」であるか否かです。

- ・従来の無菌医薬品：製品を容器に充填した後、最後に熱や放射線で最終滅菌できるものが多い
- ・再生医療等製品：熱や圧力をかけると生きた細胞が破壊されてしまうため、最終滅菌が不可能

そのため、GPCでは細胞の受け入れから培養、最終製品のパッキングに至るまで、細胞が環境に露出するすべての工程を、極めて厳格な無菌状態(無菌操作)で完遂しなければなりません。

○法規制におけるリスクベースアプローチと最新トレンド

前項で述べた通り、細胞の取扱工程には厳格な無菌状態が求められますが、従来の無菌医薬品製造工場のスペックを部屋全体にそのまま持ち込むと、深刻な「オーバースペック(過剰投資)」に陥るケースが散見されます。そのため、GCTP省令等においては、従来の無菌医薬品の厳格なルールを空間全体に適用するのではなく、「リスクベースアプローチ」という考え方が推奨されています。

例えば、安全キャビネットの代わりにアイソレータや完全閉鎖系システムを導入し、装置の内部で最高レベルの無菌状態(グレードA)を担保した場合、製品が室内の外気に触れないため、部屋全体の要件を「グレードC」あるいは「グレードD」まで緩和できるケースがあります。

近年ではこの考え方を発展させ、比較的清浄度要件を緩和した大空間(ボールルーム)内に複数の閉鎖系装置を配置する「ボールルーム構想」の採用が進んでいます。これにより、将来の製品変更等に伴うレイアウト変更に柔軟に対応しつつ、複雑な空調ダクトの取り回しや差圧制御を簡略化し、空調エネルギーの大幅な低減を図ることが可能になります。

※出典：無菌操作法による無菌医薬品の製造に関する指針(厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課)

衛生設備ニュース 01

sanitary accommodations news 2026.Jan

No.047

□ 機器 □ 給水 □ 給湯 ■ 排水
□ 器具 □ 消火 □ ガス □ 環境 □ 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

サイフォン式雨水排水システム

1. サイフォン式雨水排水システムの基本原理

サイフォン式雨水排水システムは、重力と負圧（サイフォン効果）を利用して、屋根や建物から雨水を効率的に排水するシステムです。従来の重力式排水システムと異なり配管内が満水状態になることで負圧が発生し、高い排水能力を実現します。

2. サイフォン式システムの特長

特長1 立て管を集約し本数削減が可能

- 立て管の設計自由度アップ
- スリーブ数基礎貫通数を削減
- 雨水マス数を削減



特長2 立て管の小口径化が可能

- スリーブ口径縮小
- 重量低減 1/5 以下

小口径化の例

管	従来配管 (SGP・150A)	サイフォン式 (雨水ハイパーRD5A)
外径	165.2mm	89mm
重量	19.8kg/m	1.2kg/m



特長3 従来配管と比較してコストダウンを実現

本数削減(特長1)の場合の比較 ※メーカー試算による
屋根面積2000㎡, 10階規模, 設計降雨強度180mm/h

従来配管 (SGP)	サイフォン式
施工費	施工費
材料費	材料費

約25%のコストダウン

高層物件なら更にメリットが発揮できます

3. システム構成要素

構成1 アウトレット

本システム専用のルーフトレンです。本品によりサイフォンを誘発させます。



構成2 エスロ雨水ハイパーRD

本システム専用の樹脂管です。腐食せず、軽量で施工性に優れます。



構成3 配管設計

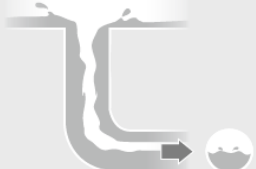
配管口径・経路など、ご要望に応じた最適な配管設計をご提案します。



▶ **サイフォン式の原理** アウトレットにより空気の流入を抑制し、サイフォンを誘発することで排水性能が向上します。

従来配管

空気が流入するため、排水量が限られます。



サイフォン式

空気が流入しにくいいため、排水性能が向上します。

アウトレットがサイフォンを誘発！
満管流



4. 設計・施工における注意点

- ・システム全体のバランスを考慮した詳細な水理計算が必要
- ・配管接続部は高い気密性が要求される
- ・高速流に対応できる耐久性のある配管材料の選定

5. サイフォン式と従来式（重力式）排水システムの比較

比較項目	サイフォン式	重力式（従来式）
配管口径	小径（30%～削減）	大径
最大屋根面積	立管50：240m ² 、立管75：800m ²	立管50：37m ² 、立管75：109m ²
横引き配管	水平配管が可能 ※専門業者への確認要	勾配が必要（1/50～1/100）
流速	高速（2～6 m/s）	低速（0.5～2.0 m/s）
排水能力	高い	標準
配管レイアウト	自由度が高い	制約が多い
初期コスト	立管本数削減の場合で25%減	標準
設計難易度	専門的な水理計算が必要	比較的簡易

6. サイフォン式が適した建物タイプ

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| ・大規模商業施設 | ショッピングモール、大型スーパーなど広い屋根面積を持つ建物 |
| ・工場・倉庫 | 広大な屋根面積を持ち、内部に柱が少ない建物 |
| ・スタジアム・アリーナ | 複雑な屋根形状を持つ大規模施設 |
| ・空港ターミナル | 広い屋根面積と長い排水経路を持つ建物 |

※出典：積水化学工業ホームページ エスロンタイムズ

<https://www.eslontimes.com>



衛生設備ニュース 06

sanitary accommodations news 2026.jun

No.048

☐ 機器 ☐ 給水 ☐ 給湯 ☐ 排水
☐ 器具 ☒ 消火 ☐ ガス ☐ 環境 ☐ 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

駐車場の用に供される部分に設ける泡消火設備に関する改正省令について

消防法施行規則の一部を改正する省令、消防庁告示第二号等が令和8年3月6日に公布されるときともに、同日施行されました。

泡消火設備に充填されている泡消火薬剤のうち、水成膜泡消火薬剤は油火災に対する消火性能に優れ、従前の設備基準において、床面積1㎡あたりの放射量が合成界面活性剤泡消火薬剤やたん白泡消火薬剤よりも少なく、ポンプや配管等の設備コストが抑えられることから、既存の駐車場において主流となっているが、当該泡消火薬剤にはPFASが含有している。そのため、環境排出抑制の観点から、PFASを含有しない合成界面活性剤泡消火薬剤やたん白泡消火薬剤に早期に交換していくことが望ましいところであるが、従前の設備基準では放射量を大きくするため、既存の駐車場において泡消火薬剤を交換しようとした場合には、配管やヘッド、ポンプ、水槽など泡消火設備全体の大規模改修が必要となる。そのため、オーナーの負担が大きく、PFASを含有しない泡消火薬剤への交換が進んでいない一因となっていました。



泡消火設備が設置されている
駐車場のイメージ

防火対象物又はその部分	泡消火薬剤の種類	床面積1㎡あたりの放射量
道路の用に供される部分、 自動車の修理若しくは整備 の用に供される部分又は 駐車場の用に供される部分	水成膜泡消火薬剤	3.7L/min
	たん白泡消火薬剤	6.5L/min
	合成界面活性剤泡消火薬剤	8.0L/min

駐車場の泡消火設備の面積あたりの放射量
消防法施行規則第18条第1項



駐車場の用に供される部分に設ける泡消火設備について、当概部分における火災の拡大を初期に抑制することができるものの性能及び放射する泡水溶液の数量の割合の基準について新たに消防庁告示で規定されました。

防火対象物又はその部分	泡消火薬剤の種類	床面積1㎡当たりの放射量
駐車の用に供される部分	泡消火薬剤の種別にかかわらず	試験※で認められた性能による放射量 3.7L/min以上

※縦1.0m x 横2.0m x 深さ0.2mの長方形の鋼板製燃焼小皿に水を60L入れ、その上に自動車用ガソリン又はノルマルヘプタンを60L入れた火災模型とする。模型に点火して予熱時間1分を経過した後、放射を開始して1分30秒以内に消火すること。

消防庁告示第2号(令和8年3月6日)

環境に配慮した消火設備の設置基準に関する検討が行われ、検討会では実車を用いた消火実験や簡易模型を用いた消火実験の結果等を踏まえて、今般の改正に至った模様。詳細は消防庁のホームページを参照してください。

また、「環境に配慮した消火設備の設置基準に関する検討結果報告書～PFASを含有しない泡消火薬剤を用いた駐車場泡消火設備～」では今後の検討事項として以下が記載されています。

水系消火設備の基準化

- 海外の駐車場では一般的に水を用いたスプリンクラー設備が設置されている。
- 駐車場の水噴霧消火設備の代替として総務大臣の認定を受けた水系消火設備も近年見られるようになっていることから、駐車場に設ける水系消火設備についてその有効性を評価し、基準化に向けた検討を進めていく。

自動車の燃焼性状の変化に伴う検討

- 今般の世界的な脱炭素化の流れからEV、FCV、PHEVなどの次世代自動車が増加している。
- 次世代自動車など今後の自動車の火災性状の変化や普及状況を注視し、駐車場の消火設備について適宜検討を継続していく。

令和8年度ボウリング大会

団体戦 若林設備工業(株) 優勝

当協会恒例のボウリング大会は令和8年6月24日(水)に心斎橋サンボウルで開催しました。賛助会員を含め28チームでの戦い(2ゲーム)となり、団体戦(チームは1社3名男女不問で結成、女子は1ゲームにつき30点加算)は、若林設備工業(株)が見事優勝しました。個人戦(女子ボーナス点加算)では、大東一弘様(不二熱学工業(株))が優勝しました。また、ハイゲーム賞は男性 大東一弘様、女性 川本菜月様に決まりました。



挨拶する平地総務委員長



優勝 若林設備工業(株)

試合結果

◇団体戦

優勝 若林設備工業(株)
準優勝 大成温調(株)
第3位 因幡電機産業(株)



準優勝 大成温調(株)

◇個人戦(敬称略)

優勝 大東一弘：不二熱学工業(株)
準優勝 久保孝平：大成温調(株)
第3位 小林史弥：三建設備工業(株)



第3位 因幡電機産業(株)

◇ハイゲーム賞(敬称略)

男性 大東一弘：不二熱学工業(株)
女性 川本菜月：(株)精研



ハイゲーム賞 不二熱学工業(株) 大東一弘様



ハイゲーム賞 (株)精研 川本菜月様



個人戦(優勝・準優勝・第3位)

第44回 4 団体協議会を開催

「労務費に関する基準」や現場における 諸課題について意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会で構成する第44回 4 団体協議会が下記により開かれ、「労務費に関する基準」にかかる国の取り組み状況及び近畿ダクト工事業協同組合から提出された「施工環境の正常化に関する継続協議のお願い」等について、意見・情報を交換しました。

- ・日時 令和 8 年 6 月22日
- ・会場 新トヤマビル 3 階貸会議室
- ・出席人数 22名

初めに、事務局から、令和 7 年12月に中央建設業審議会において決定された「労務費に関する基準」にかかる国の取り組み状況や実効性確保のためのロードマップの説明の後、配管工や保温工などの「大阪府の労務費の基準値」について説明が行われました。国土交通省の労務費に関する基準ポータルサイトにおいて、都道府県別、職種別に労務費の基準値が公表され、また、労務費の基準値に「建設労働者の雇用に伴い必要な経費」を含めた参考値も公表されていることを共有しました。

次に、「施工環境の正常化に関する継続協議のお願い」について、現場における諸課題など意見交換が行われました。

「ダクト工事は、IR事業もあり今後増えていくことが予想されるため施工図の精度、建築との取合いなどの課題は、影響が大きい。今のうちに手を打っておかないと大変なこととなる」という意

見に対して、「施工図は、現場レベルでなく会社レベルで書いている。施主からの変更要望時期なども改善されていると思う。このあたりは、ゼネコン等ともデスクッションして認識してもらっている」との意見交換がなされました。

また、「問題は、複合化しており、施工効率が悪くなっている」、「建設キャリアアップシステムも費用が独り歩きしており、国とのギャップが大きい」、「あと10年もたったら人はいなくなる、どうすれば施工効率が上がるのか」、「干渉チェックなどではB I Mが有効ではないか」などの声があがりました。

その他として、令和 8 年 2 月（一社）日本電設工業協会 関西支部、（一社）日本空調衛生工事業協会 近畿支部との連名で（一社）日本建設業連合会 関西支部及び（一社）大阪建設業協会あてに適正な工期の確保及び工程の遵守、長時間労働の是正などの「働き方改革の推進申し入れ」活動の指針について、申し入れを行ったことが報告されました。



4団体協議会

就 任 ご 挨拶

専務理事 坂口 正行

平素は、当協会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

第53回定時総会後の臨時理事会の決議により、専務理事を拝命いたしました坂口正行でございます。

今年3月末に36年間勤めました大阪府庁を退職し、4月1日から一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会でお世話になっております。

大阪府庁では開発許可などの許認可、府立学校の改修・増築工事、府有建築物の耐震化推進事業、密集市街地の改善整備、府営住宅の建替事業、工事発注業務、入札・契約制度など幅広い業務に携わらせていただきました。

中でも府有建築物の耐震化推進事業は、大変でした。10年間に府有建築物の耐震化率を90%以上にするという目標に取り組みましたが、耐震改修工事は、「事業費が莫大」「建物の寿命が延びるわけではない」「壁が増えるため部屋の使い勝手が悪くなる」「工事期間中は使用できる部屋などが制限される」「工事中の音がうるさい」「建物がきれいになるわけではない」といった理由からでなかなか理解が得られず、事業の難しさを痛感しました。どのように訴えれば響くのか。どのように進めればよいのか。今でこそ建物の耐震性は最重要視されますが当時は、まだまだ理解されず

模索し続けました。

密集市街地の改善整備事業においても同様、木造住宅が密集する建物のオーナーの皆様や地元の自治会の方々との勉強会、建替え相談会の開催、個別訪問やワークショップなどを通じて災害に強いまちづくりの推進に努めましたが、思うように進まず難しさを改めて感じました。

これらの業務を通じて、さまざまな立場の方と色々なお話をたくさんさせていただきましたが、リーフレット、メール、電話だけでは伝わらないこと、目を見て話すことの大切さを強く学びました。

その学びを生かし、発注業務や入札契約制度を担当していたときには、事業者の方々と建設業の現状や課題、国や地方の取り組みなどについて、積極的に意見交換を行いながら、よりよい入札制度づくりに努めてまいりました。

今後も大阪府での経験を生かしつつ、建設業の大きな課題である担い手確保に向けた取り組みや配管技能コンテストなどを通じて現場の面白さや奥深さを伝えるとともに、働き方改革や処遇改善など建設産業の商習慣を変える国の改革の動向に注視しながら、みなさまとの意見交換を重ね、課題を共有し、微力ながら空調衛生業界のさらなる発展に尽力してまいりたいと思います。

登高望遠・日々力行

前専務理事 林 寿二

○近畿で日空衛第23回全国会議開催（2016年）

2016年（平成28年）4月に協会事務局に採用され、5月の定時総会終了後に開催された臨時理事会で専務理事に選任されました。3月末まで、大阪府庁に在籍しており、行政の経験しかありませんでしたので、業界団体の行事や活動には戸惑いを感じました。

その年の10月には近畿支部担当の神戸市での日

空衛第23回全国会議の開催が決まっている関係で、会議の詳細検討や運営体制、来賓との調整等、様々な準備に忙殺されるとともに、協会行事（配管技能コンテストや安全衛生大会等）も予定通り進めていかなければならず、とにかく無我夢中の一年となりました。

○新技術・新商品説明会を初めて開催（2017年）

昨年2016年は、4月の熊本地震に始まり、鳥取県中部地震等、各地で地震が発生し、また、世界では、インドネシア、エクアドル、イタリア中部、チリ南部等で大地震が発生し、多くの人々の自宅が倒壊し、生活の基盤を一瞬にして奪われるなどの惨状を目の当たりにしますと、国を超えての総合的な対策の必要性を痛感した次第です。

さて、当協会の新たな取り組みとしては、会員と賛助会員との交流をより深めるため、賛助会員による「新技術、新商品説明会」の開催でした。

具体的には、9月に5社による説明会、11月に懇親会と併せての3社による説明会を実施しました。

参加者へのアンケートでは、良かったとの回答が大半を占めましたが、質疑の時間をもっととってほしい、説明の機会をもっと増やしてほしい等、貴重な意見も頂戴し、次回から、活かすこととし、毎年、11月に開催してまいりました。

賛助会員の皆様のご協力を得て、お陰様で本年2026年で10年目の佳節を迎えます。

○10回目の佳節となる配管技能コンテストを開催（2018年）

震度6弱を観測した大阪北部地震、西日本豪雨、大型の台風21号等、大規模な自然災害による甚大な被害が全国各地にもたらされ、まさに災害列島ともいうべき1年でありました。

建設業界においては、若年労働者の減少、技能者の高齢化が顕著となり、担い手の確保、育成が喫緊の課題です。そのため、現役の配管工と設備を専攻する高校生・専門学校生が一堂に会して配管の課題を制作する配管技能コンテストを2009年に新たに立ち上げ、毎年1回開催することとしました。

第10回目の佳節を迎える配管技能コンテストは、これまでの第1位から第5位までの表彰に加え、一般の部は敢闘賞、学生の部は努力賞を新たに設けることにより、参加者の課題制作への意欲をより一層高めることとしました。

本年2026年で第16回目となりますが、当協会の主要行事として、引き続き、技能者育成、人材確保が図られるよう、関係団体や工科高校等とも連携しながら、更に充実させていただきたいと思っています。

○地球温暖化対策の取り組み（2019年）

災害の主な原因である地球温暖化に対し、国は、温暖化対策の国際枠組みである「パリ協定」の目標達成に向け、6月に、温室効果ガスの排出量を大幅削減するための長期戦略を閣議決定しました。翌年発足した菅内閣では、首相所信表明演説で、「脱炭素社会の実現」を掲げ、具体的には2050年「カーボンニュートラル」を目指す

としています。

国の目標を踏まえ、日本空調衛生工事業協会においては、「空調衛生工事業のカーボンニュートラル行動計画」を2024年5月に公表し、それに基づき、ZEBの推進等、様々な取り組みを展開しているところです。

○コロナ禍（2020年～2022年）

年初から新型コロナウイルスが世界中で猛威を奮い出し、国内においては、政府が、4月に初めて「緊急事態宣言」を発出し、国民生活が外出の制限など、大きく制約を受けることとなりました。コロナ禍により、マスク着用、手洗い・うがいの励行、三密回避等、新しい生活様式が誕生しました。

当協会もその影響を受け、2020年5月の定時総会を対面での開催を书面開催に変更、新年交礼会や配管技能コンテストも2年間中止等、主要行事が次々と中止を余儀なくされました。2022年からは、感染対策を徹底したうえで、全ての行事が開催できるようになりました。

○なでしこ設備会発足（2021年）

2019年に経営委員会主催で会員企業所属の女性を対象に研修会・懇親会を実施しました。参加者へのアンケートで、設備業界で活躍する女性を対象とした交流・研修の会を作ってほしいとの声を踏まえ、青年部会を中心に設備女子の会（仮称）の設立に向けて取り組みを進め、2021年7月に「

なでしこ設備会」が発足しました。会の活動としては、年4回程度の定例会の他、研修会、施設見学会等に取り組むとともに、協会の様々な行事の運営にも取り組んでおり、協会の活動の推進に寄与しているところです。

今後の益々の活躍を期待しております。

○設立50周年記念事業開催に向けて（2023年）

新型コロナウイルス感染が国内で初めて確認されてから早3年が過ぎ、まだまだ感染者は多いですが、感染対策は当然のこととして久しぶりの行動制限のない年末年始を迎えました。

さて、当協会は、前身である大阪管工設備研究会（1961年設立）から1974年（昭和49年）2月に新たに社団法人として認可されてより2024年2月には満50周年の佳節を迎えます。そこで、当協会の50年の歩みや空調衛生工事業界で活躍する女性や技術者による座談会等を取めた記念誌を2024年7月末に発刊すべく、制作委員会で鋭意作業を進めるとともに、同年5月には記念式典、記念祝賀会を開催すべく、準備を進めてきました。

そのような中、私事ですが、前立腺がんが5月に見つかり、まだ初期の段階の悪性腫瘍であったためホルモン療法と放射線（重粒子線）による治療を行うこととしました。

具体的には、翌2024年3月に大阪重粒子線センターで平日午前9時から1日につき1回の照射で計12回、前立腺へ照射することとなりました。照射を終えてから、職場へ出勤し、記念事業の準備や記念誌発刊に向け制作作業等に忙殺される日々が続きましたが、周囲の協力もあり、何とか乗り切ることができました。（現在は、まだ経過観察中ですが、寛解ともいえるような状態になりました。）

○設立50周年記念誌発刊（2024年）

5月に記念式典、記念祝賀会を、官公庁等の来賓を迎え盛大に開催するとともに、7月末には当協会の50年の歩みや空調衛生工事業界で活躍する女性や技術者による座談会等を収めた記念誌を発刊し、会員・賛助会員をはじめ関係各位に配布しました。

そのような慌ただしい年でしたが、機関誌大空衛も94号（新春号）及び95号（夏季号）を何とか予定通り発行することができました。これもひとえ

に、広報委員、広報専門委員等の関係者のご尽力によるものと深く感謝する次第です。

機関誌としては、第1号を昭和50年（1975年）に創刊、その後毎年発行し今日に至っております。今回の設立50周年記念誌の発刊にあたっては、これまでの機関誌が大いに役立ったことは言うまでもありません。

今後も、当協会の活動や歩みを機関誌にしっかりと留めて頂きたいと思います。

○大阪・関西万博開催（2025年）

世界158の国・地域と7つの国際機関が参加しての2025大阪・関西万博。6か月間の会期中の総入場者数が2,550万人を超え、10月13日に閉幕しました。

会場内の施設建設にあたっては、迎賓館や大催事場等の空調衛生設備工事を当協会の会員企業が担当し、限られた工期の中、無災害で完了したことは大変喜ばしい限りです。

私事ですが、7月下旬に夫婦で訪れました。当然、人気パビリオンの予約は取れず、予約の必

要のないパビリオンも長蛇の列が多く、比較的にスムーズに入れるコモンズ(複数の国・地域が一つの建物内でブースを設けて展示を行う共同展示エリア)を中心に会場内を巡りました。コモンズでは、まだまだ未知の国・地域が多くあり、各スタッフがそれぞれの魅力を身振り手振りで懸命にアピールしている姿が印象的でした。

関係者の皆様、一大イベントを成功裏に終え、大変お疲れさまでした。

○結びに（2026年）

5月に開催された第53回定時総会を以て、5期10年間に亘った専務理事を退任しました。その間、会長・副会長をはじめ、理事、監事、専門委員の関係者の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。また、青年部会、なでしこ設備会の皆様にも、協会行事の推進や運営にご協力いただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

ここで、お伝えしたい言葉があります。

「Think globally、act locally」という言葉です。直訳すると、「地球規模で考え、足元から行動する」という意味ですが、元々は、米国の環境学者が、1970年代の環境運動の中で使い広めたものとされており今日では、環境分野で定着しています。

この言葉を空調衛生分野で考えてみますと、地球全体の喫緊の課題である地球温暖化対策として、これまで以上に、より高性能の省エネ・省CO₂の空調衛生機器等の開発や普及促進が求められており、まさに、空調衛生業界は、地球環境を再生していく先導的役割を担っているといっても過言ではないと思います。

最後に、当協会の益々の発展と関係者の皆様の益々のご活躍、ご健勝、ご多幸を祈念して結びとさせていただきます。

長きに亘りまして、大変お世話になり、ありがとうございました。

○賛助会員募集のご案内

多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

入会手続 協会事務局までご連絡下さい。入会申込書を送付します。

○今後の主な行事予定

開 催 日	行 事	場 所
9月26日	第16回配管技能コンテスト	大 阪 府 立 東 大 阪 高 等 職 業 技 術 専 門 校
10月6日	安全衛生大会	建 設 交 流 館 8 階 グ リ ー ン ホ ー ル
10月20日,21日,22日	野球大会	スカイランドHARADA 多 目 的 運 動 広 場
11月12日	新技術・新商品説明会及び懇親会 (8月下旬以降、説明者募集予定)	ハービスENTオフィス タワービル9階会議室他
令和9年1月13日	新年交礼会	スイスホテル 南海 大阪
令和9年2月16日	(一社)日本空調衛生工事業協会 近畿支部会	シ テ ィ プ ラ ザ 大 阪

● ● ● ● ● 機関誌「大空衛」の表紙写真の募集 ● ● ● ● ●

なお、採用された方には、僅かですが、掲載料をお渡しします。

広報委員会

2026年

暑中お見舞い申し上げます



一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員(74社)

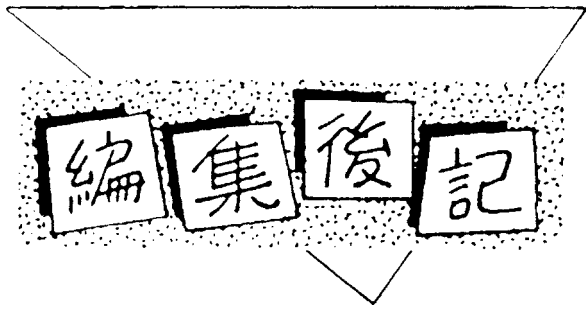
会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
赤井設備工業株式会社	上田 訓司	島設備工業株式会社	井上 暎夫
株式会社朝日工業社大阪支社	三宅 輝彦	主計管工株式会社	中井 主蔵
株式会社上杉工業	上杉 嘉邦	城陽ダイキン空調株式会社	門脇 年治
浦安工業株式会社大阪支店	水野 博史	株式会社城口研究所関西支店	小山 正晃
株式会社江坂設備工業	中村 昭一	新日本空調株式会社大阪支店	上杉 晴一
オーディーエー株式会社	織田 幸子	新菱冷熱工業株式会社西日本事業部	藤岡 展光
株式会社大阪城口研究所	城口 俊雄	須賀工業株式会社大阪支社	中川 修
鳳工業株式会社	齊藤 伸一	株式会社精研	辻 武寿
奥田商工株式会社	奥田 康雅	株式会社千里技研	山田 正人
影近設備工業株式会社大阪支店	東野 大輔	第一工業株式会社大阪支店	坂下 隆
川崎設備工業株式会社西部支社	今井 健博	第一設備工業株式会社大阪支店	中村 秀樹
川惣電機工業株式会社	昆沙賀正道	大貴設備株式会社	田窪大五郎
川本工業株式会社大阪支店	井上 修	ダイクウ株式会社	橋本 輝
木村工業株式会社	木村 之紀	大晃設備株式会社	高橋 孝治
協伸工業株式会社	森岡 由智	大成温調株式会社大阪支店	中村 修
株式会社共進社工業所	山内 順二	ダイダン株式会社大阪本社	畑中 勝美
享和設備株式会社	竹本 和正	大熱工業株式会社	藪本 繁明
クウケン株式会社	杉本 知紀	高砂熱学工業株式会社関西支店	赤松 孝宏
九櫻設備工業株式会社	高安 秀幸	株式会社タカネツ	高木 優
株式会社クドウエンジニアリング	磯崎 博	株式会社竹本設備	竹本 太郎
五建工業株式会社大阪支店	安田 実	田丸産業株式会社	堀田 高志
サノヤス・エンテック株式会社	浅尾 洋光	株式会社テクノ菱和大阪支店	武田 和夫
三機工業株式会社関西支社	勝野 耕治	東洋工業株式会社	谷本賢太郎
三建設備工業株式会社大阪支店	永田 博巳	東洋熱工業株式会社大阪支店	藤原 和明
株式会社三晃空調大阪本店	堀内 昭律	株式会社T R U S T	桑原 貴志
三神工業株式会社大阪支店	高谷 俊則	株式会社錦	廣田 典子
三宝電機株式会社大阪本店	朝日奈芳隆	株式会社西原衛生工業所大阪本店	植田 順一
株式会社三冷社西日本支社	大田 勝己	株式会社日設関西支店	長尾 正
株式会社JR西日本テクシアMC事業所	清水 勝	日本管工業株式会社大阪営業所	小野 直人
敷島煖房工業株式会社	土橋 誠二	日本ファシリオ株式会社大阪本店	植谷 信之
四國機械設備株式会社	曾我 幸二	日本メックス株式会社関西支店	立川 雅司

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
有 限 会 社 原 設 備	原 良一	株 式 会 社 前 田 商 会	前田 裕子
日比谷総合設備株式会社関西支店	嶋村 克久	株 式 会 社 マ サ キ 設 備	正木 規善
株 式 会 社 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	株 式 会 社 マ ル フ ォ ー ス	田代 一臣
株 式 会 社 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	美 和 設 備 工 業 株 式 会 社	栢瀬 秀樹
富士電機E&C株式会社西日本支社	田中 正樹	柳 生 設 備 株 式 会 社	福地 優祐
不 二 熱 学 工 業 株 式 会 社	近藤 康之	若 林 設 備 工 業 株 式 会 社	若林 豊

賛 助 会 員

(62社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器株式会社大阪支店	北 克也	タ カ ラ 通 商 株 式 会 社	渡辺 晃
アズビル株式会社ビルシステムカンパニー関西支社	岩木 清	株式会社多久製作所営業本部中日本支店	吉田 智也
アルファ・ラバル株式会社大阪支社	竹次 裕佑	株 式 会 社 タ ブ チ 大 阪 特 販 部	田渕 貴之
粟 井 機 銅 株 式 会 社	粟井 寛儀	テラル株式会社関西支店	小川 浩之
安 藤 株 式 会 社	安藤 晴重	東西化学産業株式会社本社	河野 祐一
イングロ株式会社西日本営業本部 関西第三ブロック	大杉 正哉	東 テ ク 株 式 会 社 大 阪 支 店	巽 達
因 幡 電 機 産 業 株 式 会 社	山田 剛志	T O T O 株 式 会 社 特 販 本 部	土井 賢治
井 下 機 器 株 式 会 社	井下 光泰	T O T O 関 西 販 売 株 式 会 社	平田 隆男
荏 原 実 業 株 式 会 社 関 西 営 業 所	綿谷 龍一	株式会社ニシテック ビルシステム事業部	藪川 洋一
株式会社荏原製作所西大阪支店	柳田 弘一	ニッケイ株式会社大阪営業所	清水 栄蔵
株式会社オーケーエム大阪支店	堤 一也	日製電機株式会社大阪空調営業所	秦 信宏
オ ー ケ ー 器 材 株 式 会 社	檜垣 勝行	ニ ッ タ 株 式 会 社	池田 卓司
株式会社オンダ製作所関西営業部	稲村 佳和	日本電技株式会社大阪支店	森 光輝
川重冷熱工業株式会社西日本支社	加藤 宏康	日本水処理工業株式会社	川西 昌史
株式会社川本製作所大阪支店	山下 哲彦	株 式 会 社 日 阪 製 作 所	森 大典
キタックスエンジニアリング株式会社大阪本社	西本 智彦	日比谷通商株式会社関西支店	芝口 薫
株 式 会 社 キ ッ ツ 大 阪 支 社	大屋一比古	富士機材株式会社関西支店	荻原 智志
木村工機株式会社大阪営業本部	登尾 公彦	株 式 会 社 扶 洋	横田 好明
協立エアテック株式会社大阪支店	津田 勇	株式会社ベルテクノ大阪支店	和田 修治
空研工業株式会社大阪支店	池田 恒夫	北 勢 工 業 株 式 会 社	北山 秀晴
株 式 会 社 古 島 大 阪 支 店	宮城 弘幸	三菱電機冷熱機器販売株式会社西日本支社	小西 英樹
三和銅管株式会社大阪営業所	岸野 真治	森 松 工 業 株 式 会 社 大 阪 支 店	田邊 亮真
ジョンソンコントロールズ株式会社大阪支店	岡田 昌之	株式会社大和バルブ西日本統括支店	小池 弘明
新晃工業株式会社大阪支社	加藤 勉	ヤマトヨ産業株式会社本社	豊嶋 貴嗣
株 式 会 社 振 興 社 設 営	楠 幸隆	ヤンマーエネルギーシステム株式会社大阪支社	徳島 久泰
シンテック株式会社大阪営業所	田村 周治	株式会社YUASA関西支店関西建築設備部	小西 達朗
新 日 本 美 風 株 式 会 社	荒牧 太郎	株式会社ユニックス大阪営業所	内田 徹
住友商事マシネックス株式会社大阪オフィス	山下 知己	株式会社ヨシタケ大阪営業所	古澤 嘉啓
タイョージョイント株式会社大阪営業所	後藤亮太郎	株式会社LIXIL 関西プロジェクト第2支店	北古賀寛之
株式会社ダイキアクシス大阪支店	塩崎 浩司	株式会社RYODEN西日本支社	作田 匡志
株 式 会 社 大 和	和田 浩一	リ ン ナ イ 株 式 会 社 関 西 支 社	岡野 哲明



先日、球界でA Iを利用した家庭内の事件があったのは、ご存じだと思います。

皆さんはA Iを活用されているのでしょうか？正直、私は全く活用（使用）していません。使い方が判らないのが本音ですが。

生成A Iには7種類ほどあるそうです。テキスト・画像・動画・音声・音楽・コード・会話の7種類だそうです。

使い方によっては、非常に便利なアイテムであると思うのですが、昭和生まれの人間にとっては、A Iの言われたままに進むことに違和感を覚えます。

政府の機関や、役所等も業務にA Iを活用しつつあるそうですが、私はA Iの提案がベストな答えだと思えることが出来ません。

会話や文章作成などは、人が行うことでその人の人間味や、特徴がわかる気がしています。このような事を言うと、老害だとか世間知らずの人だと言われるのでしょう。

なので、A Iをもっと理解し、必要な場面で使える努力をしようと思う日々です。（A.H）

大阪に赴任して早や一年が過ぎました。

安くて美味しい大阪名物も一通り味わい、通勤時の風景にもようやく馴染んでまいりましたが、関西特有の湿気を伴う暑さには未だ慣れぬ日々です。

さて、連日の厳しい暑さの中、これまで以上に体調管理と安全への配慮が求められる季節となりました。

近年の気候変動は私たちの業務環境にも影響を及ぼし、働き方や設備の在り方を見直す契機となっております。

また、AI の活用が進み業務の高度化・効率化

が進展する一方で、「考える」ことの本質が改めて問われていると感じております。

便利さの陰に潜む危うさを見極めつつ、時代の変化をしなやかに受け止め、本質を見失うことなく歩みを重ねてまいりたいものです。（K.S）

コロナが落ち着いてきたと思ったら、令和の米騒動が勃発して日本の食料自給率の危うさが、またまた露呈してしまいました。

そして、今度は中東情勢の日本への影響で、ナフサショックが何の前触れもなくやってきました。今やグローバル世界の中で、日本をはじめ全世界が原油由来の製品を活用し産業から日常生活の隅々まですべてにおいて副次的な影響を受けてしまっています。

建設業界も色々な工種で長引く影響を受け、工程の変更を余儀なくされている中、あらゆるモノの価格が上昇してインフレの様相が露わになってきました。発注者の負担が増えて事業計画の見直しが続く中、騒動に便乗した値上げではなく、働く人たちの為の賃上げであってほしいと願っています。

グローバルサプライチェーンの脆弱性が顕在化し、日本の製造業にとって、国内工場回帰が加速していく中、経済安全保障のもと強靱化が進むよう見守っていききたいものです。（S.M）

当協会の前総務委員長の木村之彦理事におかれましてはさる5月3日にお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大 空 衛 第99号

令和8年7月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町 1 丁目 7 番20号

新トヤマビル 3 階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail : osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL http : //daikuei.com

印 刷 株式会社西川印刷所

